



2025年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 夢展望株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3185 URL <https://www.dreamv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 今浦 史尊 TEL 072-761-9293
 定時株主総会開催予定日 2025年6月23日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,499	△3.4	△277	—	△359	—	△369	—	△369	—	△370	—
2024年3月期	4,656	△10.2	△278	—	△354	—	△352	—	△352	—	△311	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△22.50	△22.50	—	△13.8	△6.2
2024年3月期	△23.98	△23.98	—	△12.4	△6.0

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	2,611	417	417	16.0	22.75
2024年3月期	2,655	282	282	10.6	19.17

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	△357	△88	297	362
2024年3月期	80	△242	△122	514

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	△19.5	1	—	△74	—	△72	—	△72	—	△5.05

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	18,337,400株	2024年3月期	14,732,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期	76株	2024年3月期	76株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	16,434,662株	2024年3月期	14,692,124株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
1. 継続企業の前提に関する注記	11
2. 会計方針の変更	11
3. 会計上の見積りの変更	11
4. セグメント情報	12
5. 1株当たり情報	14
6. 後発事象	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)は、雇用や所得環境の改善を背景とした個人消費の改善やインバウンド需要の拡大の動きが見られた一方、長期化する原材料や物流費等の高止まりに伴う世界的な物価高騰、為替変動などの影響を受けて、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、消費者マインドの回復は見られるものの、海外からの仕入れコストの上昇や原材料の高騰など、引き続き経営環境へのマイナス要因も多く、全般的には厳しい経営環境となりました。加えて、記録的な猛暑や秋口にかけての気温の高止まり、子会社における不正アクセスによるホームページのドメイン盗難など、予期せぬ事象も発生いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、海外展開の強化、販売費及び一般管理費の削減、資金調達による財務基盤の強化に努めてまいりましたが、為替の急激な変動や暖秋・寒春に翻弄されたアパレル事業、ドメイン盗難によりホームページからの集客と受注で大きく影響を受けたジュエリー事業で苦戦し、売上及び利益ともに課題が残る結果となりました。しかしながら、玩具事業が好調に推移したことと、グループ全体のコスト構造改革の進展により、赤字幅は縮小し、減収ながらも増益という結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、売上収益は4,499百万円(前期比3.4%減少)、営業損失は277百万円(前期は営業損失278百万円)、親会社の所有者に帰属する当期損失は369百万円(前期は親会社の所有者に帰属する当期損失352百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(アパレル事業)

アパレル事業は、EC専業の当社及び実店舗とEC店舗を有する連結子会社であるナラカミーチェジャパン株式会社が担っている事業です。

当社は、7月より抜本的な方針転換をはかり、海外展開を拡大し、米国、中国、台湾の主要な事業者と連携し8月より越境ECを本格的に開始しました。各地域の特性に合わせて海外マーケティングやブランディングを加速させ、各販売パートナーの強みを活かした販売戦略の元、海外販路の拡張を積極的に進めることにより海外売上は順調に拡大しました。一方、国内市場では猛暑や気温の高止まりの影響で秋冬商戦が不振となり、DearMyLoveを中心とする主力ブランドが苦戦、自社ECサイトでの売上不足も響きました。また、長期化する原材料や物流費等の高騰といった世界的なインフレの進行が粗利率に影響し、営業利益を大きく圧迫する結果となりました。

ナラカミーチェジャパン株式会社については、ブランディング方針の見直しを図りつつも、仕入れ契約の自由度向上を活かした商品力強化が追いつかず、また例年以上の猛暑と秋口の気温の高止まりに大きく影響を受けて売上面で苦戦する結果となりました。損益については、引き続き物流費高騰や円安、商品原価値上げに加え、セール期の値引き販売比率の上昇等が粗利率に影響し、減収減益を余儀なくされました。

以上の結果、当連結会計年度のアパレル事業の売上収益は2,558百万円(前期比5.9%減少)、営業損失は201百万円(前期は営業損失196百万円)となりました。

(ジュエリー事業)

ジュエリー事業は、連結子会社である株式会社トレセンテが行っている事業であり、主に婚約指輪・結婚指輪等のブライダルジュエリーを中心とする宝飾品の受注販売を行っております。ジュエリー事業は、公式ホームページのドメイン盗難による集客機能低下が大きく影響し、6月から8月にかけての店舗受注が減少しました。その後、ウェブサイト復旧とともに受注は回復傾向に転じましたが、十分な巻き返しには至りませんでした。加えて、大幅な経費削減や店舗統廃合等の構造改革に積極的に取り組んだものの、売上の減少を完全に補うには至っておらず、前年同期比は減収減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度のジュエリー事業の売上収益は789百万円(前期比13.8%減少)、営業損失は56百万円(前期は営業損失7百万円)となりました。

(玩具事業)

玩具事業は、当社及び香港と中国の連結子会社が行っている事業であり、国内玩具メーカーや小売店に玩具や雑貨を卸しております。当連結会計年度は、原材料や燃料価格の上昇による影響を受けたものの、国内玩具市場の拡大や販売先の多様化により受注は堅調に推移し、増収増益を達成しました。

以上の結果、当連結会計年度の玩具事業の売上収益は1,154百万円(前期比13.0%増加)、営業利益は88百万円(前期比143.2%増加)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 総資産

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ44百万円減少し、2,611百万円となりました。

② 流動資産

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円減少し、2,386百万円となりました。この主な要因は棚卸資産が74百万円増加したものの、現金及び預金が183百万円減少したこと等によるものがあります。

③ 非流動資産

当連結会計年度末における非流動資産は、前連結会計年度末に比べて32百万円減少し、224百万円となりました。この主な要因は、その他の非流動資産が23百万円減少したこと等によるものであります。

④ 負債合計

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ179百万円減少し、2,193百万円となりました。

⑤ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて108百万円減少して1,829百万円となりました。この主な要因は、有利子負債が92百万円減少したこと等によるものであります。

⑥ 非流動負債

当連結会計年度末における非流動負債は、前連結会計年度末に比べて70百万円減少して364百万円となりました。この主な要因は、有利子負債が43百万円減少したこと等によるものであります。

⑦ 資本

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて134百万円増加して417百万円となりました。この主な要因は、当期包括利益を△370百万円計上したものの、資本金・資本剰余金が合計で505百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ151百万円減少し、362百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は357百万円（前期は獲得した資金が80百万円）となりました。これは主に、減価償却費及び償却費を88百万円計上したものの、税引前当期損失を359百万円計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は88百万円（前期比154百万円減少）となりました。これは主に、関係会社短期貸付金の貸付による支出が50百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は297百万円（前期は使用した資金が122百万円）となりました。これは主に、リース負債の返済による支出が118百万円あったものの、株式の発行による収入が514百万円あったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの中核事業が属するアパレル小売業界は、国内市場における更なるレッドオーシャン化が進むと見込まれますが、当社グループの海外向け売上は堅調に推移しており、2026年3月期以降も海外事業を当社グループの成長エンジンと位置づけ、注力してまいります。これまでの収益構造改革により財務基盤も着実に強化されており、海外事業の拡大とIPコラボレーションの本格展開以降は業績も改善傾向にあります。特に第4四半期連結会計期間では大幅な赤字改善となり黒字化を達成いたしました。今後は、年間を通じて海外事業とIPコラボレーションを強化することで、2026年3月期の営業黒字化を目指してまいります。

また、当社のミッションである「夢展望らしいカワイイ、カッコいいを安心して手軽に楽しんでもらい、新たな顧客＝ファンを創造すること」の原点に立ち返り、引き続きお客様の声に真摯に耳を傾けながら、多方面とのコラボレーション施策や主力ブランドの強化を一層推進してまいります。

ナラカミーチェジャパン株式会社においては、ブランディング戦略の刷新に取り組むとともに、店舗の費用構造の見直しを進め、収益性の向上を図ってまいります。さらに、ECシステムの刷新によるデジタル強化を推進し、顧客利便性の向上と業務効率化を目指します。

株式会社トレセンテにおいては、マーケット環境を踏まえた出店戦略の見直しを進め、スクラップアンドビルドによる店舗ポートフォリオの最適化を図ることで、持続的な成長基盤の構築に取り組んでまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当連結会計年度は、引き続き物価高騰や為替変動など外部環境の影響を受けつつも、海外事業の成長や収益構造改革の効果が着実に現れ始めた年度となりました。一方、アパレル事業およびジュエリー事業においては依然として厳しい状況が続いております。ジュエリー事業では収益構造を見直し、不採算店舗の整理を進めましたが、大幅な減益となりました。

結果として、当連結会計年度において営業損失及び当期損失を計上し、個別財務諸表において前事業年度末から引き続き債務超過の状態であります。

これらの状況を複合的に勘案した結果、前連結会計年度に引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当該事象又は状況を解消するため、販売費及び一般管理費のさらなる削減によるキャッシュ・フローの改善施策の実行、さらには親会社からのファイナンス支援の実行による資本増強を図ってまいります。

以上より、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

なお、継続企業の前提に関する重要な不確実性を判断するための基礎となる事業計画及び資金計画に含まれる重要な仮定は以下のとおりであります。

- ・事業計画上の売上高や営業利益計画の前提となる販売予測や経費予算
- ・事業計画に基づく経常収支予測
- ・親会社からの資金支援継続の意思及び能力

上記の仮定は当社を取り巻く経営環境などの影響を受けます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上ならびにグループにおける会計基準統一を目的として、2018年3月期より国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び預金	628,573	445,284
営業債権及びその他の債権	458,080	481,324
棚卸資産	1,025,885	1,100,106
関係会社短期貸付金	250,000	300,000
その他の流動資産	35,390	59,648
流動資産合計	<u>2,397,930</u>	<u>2,386,364</u>
非流動資産		
有形固定資産	133,731	123,669
無形資産	2,158	3,126
その他の非流動資産	121,635	97,967
非流動資産合計	<u>257,525</u>	<u>224,762</u>
資産合計	<u><u>2,655,455</u></u>	<u><u>2,611,127</u></u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	327,993	359,191
有利子負債	1,295,245	1,203,054
未払法人所得税	3,848	11,853
引当金	54,473	74,529
その他の流動負債	256,446	181,111
流動負債合計	<u>1,938,008</u>	<u>1,829,739</u>
非流動負債		
有利子負債	242,992	199,098
引当金	82,361	66,849
繰延税金負債	39,827	38,813
その他の非流動負債	69,830	59,418
非流動負債合計	<u>435,012</u>	<u>364,179</u>
負債合計	<u>2,373,021</u>	<u>2,193,919</u>
資本		
資本金	767,662	1,026,636
資本剰余金	724,475	971,036
その他の資本性金融商品	880,000	880,000
利益剰余金	△2,148,364	△2,514,554
自己株式	△85	△85
その他の資本の構成要素	58,747	54,174
親会社の所有者に帰属する 持分合計	<u>282,434</u>	<u>417,207</u>
資本合計	<u>282,434</u>	<u>417,207</u>
負債及び資本合計	<u>2,655,455</u>	<u>2,611,127</u>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	4,656,417	4,499,651
売上原価	2,483,642	2,480,375
売上総利益	2,172,774	2,019,275
販売費及び一般管理費	2,396,989	2,284,425
その他の収益	21,136	21,116
その他の費用	75,685	33,450
営業損失(△)	△278,763	△277,483
金融収益	2,889	16,038
金融費用	78,806	98,547
税引前当期損失(△)	△354,680	△359,993
法人所得税費用	△2,416	9,782
当期損失(△)	△352,264	△369,775
当期損失(△)の帰属 親会社の所有者	△352,264	△369,775
当期損失(△)	△352,264	△369,775
1株当たり当期損失(△)		
基本的1株当たり当期損失(△)(円)	△23.98	△22.50
希薄化後1株当たり当期損失(△)(円)	△23.98	△22.50

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期損失(△)	△352,264	△369,775
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	3,047	3,586
純損益に振り替えられることのない項目合計	3,047	3,586
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	37,297	△4,573
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	37,297	△4,573
その他の包括利益合計	40,344	△986
当期包括利益	△311,919	△370,762
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△311,919	△370,762
当期包括利益	△311,919	△370,762

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本 剰余金	その他の資本 性金融商品	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	資本 合計
2023年4月1日残高	746,042	703,288	600,000	△1,801,601	△85	24,028	271,672	271,672
当期損失(△)	—	—	—	△352,264	—	—	△352,264	△352,264
その他の包括利益	—	—	—	—	—	40,344	40,344	40,344
当期包括利益合計	—	—	—	△352,264	—	40,344	△311,919	△311,919
新株の発行	21,557	21,557	—	—	—	—	43,115	43,115
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の行使	62	62	—	—	—	△124	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	2,452	—	△2,452	—	—
株式発行費用	—	△433	—	—	—	—	△433	△433
その他の資本性金融商品の発行	—	—	280,000	—	—	—	280,000	280,000
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	3,047	—	△3,047	—	—
所有者との取引額合計	21,620	21,186	280,000	5,500	—	△5,625	322,682	322,682
2024年3月31日残高	767,662	724,475	880,000	△2,148,364	△85	58,747	282,434	282,434

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本 剰余金	その他の資本 性金融商品	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	資本 合計
2024年4月1日残高	767,662	724,475	880,000	△2,148,364	△85	58,747	282,434	282,434
当期損失(△)	—	—	—	△369,775	—	—	△369,775	△369,775
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△986	△986	△986
当期包括利益合計	—	—	—	△369,775	—	△986	△370,762	△370,762
新株の発行	257,803	257,803	—	—	—	—	515,607	515,607
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	2,340	2,340	2,340
新株予約権の行使	1,170	1,170	—	—	—	△2,340	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—	—	—
株式発行費用	—	△12,411	—	—	—	—	△12,411	△12,411
その他の資本性金融商品の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	3,586	—	△3,586	—	—
所有者との取引額合計	258,973	246,561	—	3,586	—	△3,586	505,535	505,535
2025年3月31日残高	1,026,636	971,036	880,000	△2,514,554	△85	54,174	417,207	417,207

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期損失(△)	△354,680	△359,993
減価償却費及び償却費	120,114	88,304
減損損失	39,794	28,367
受取利息及び受取配当金	△2,889	△16,038
支払利息	47,033	62,732
売上債権の増減	△29,385	16,119
棚卸資産の増減	272,540	△74,220
仕入債務の増減	△16,235	36,316
引当金の増減	△10,406	7,679
その他	69,989	△103,820
小計	135,873	△314,552
利息及び配当金の受取額	47	18,638
利息の支払額	△53,152	△59,290
法人所得税の支払額	△2,242	△2,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,526	△357,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	—	△11,010
有形固定資産の取得による支出	△3,367	△17,977
有形固定資産の売却による収入	14,545	—
無形資産の取得による支出	△4,760	△10,070
差入保証金の差入による支出	△289	△1,795
差入保証金の回収による収入	402	9,849
関係会社短期貸付金の貸付による支出	△250,000	△50,000
その他	562	△7,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,906	△88,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△230,000	—
長期借入れによる収入	188,102	—
長期借入金の返済による支出	△264,270	△88,278
リース負債の返済による支出	△134,570	△118,490
新株予約権の発行による収入	—	2,340
株式の発行による収入	38,760	514,765
株式発行費用の支出	△433	△12,411
その他の資本性金融商品の払込による収入	280,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,411	297,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,463	△2,415
現金及び現金同等物の増減額	△276,327	△151,084
現金及び現金同等物の期首残高	790,336	514,008
現金及び現金同等物の期末残高	514,008	362,924

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 会計方針の変更

当社グループは、当連結会計年度より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	負債の流動又は非流動への分類に関する要求事項を明確化 特約条項付の長期債務に関する情報の開示を要求する改訂
IAS第7号 IFRS第7号	キャッシュ・フロー計算書 金融商品：開示	サプライヤー・ファイナンス契約の透明性を増進させるための開示を要 求する改訂
IFRS第16号	リース	セール・アンド・リースバック取引の取引後の会計処理を明確化

上記基準書の適用による連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

3. 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

4. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、アパレル事業、ジュエリー事業、玩具事業の3つを報告セグメントとしております。

アパレル事業は、幅広い年齢層の女性を主なお客様として、衣料品・靴・雑貨等のファッション関連商品をEC（イーコマース）サイトにおいて販売すること並びに、ブラウスを中心とする衣料品を百貨店等の店頭において販売することをメインの事業としております。ECサイトにおいての販売では、商品企画から製造・小売までを一貫して行うSPA（Speciality Store Retailer of Private Label Apparel）の手法を採っており、自社スタジオでの商品撮影、画像加工、WEBページへのアップも一貫して自社で行っております。

ジュエリー事業は、婚約指輪・結婚指輪等のブライダルジュエリーを中心とする宝飾品の販売を行っており、札幌から福岡までの主要都市において、単独店やファッションビル、ホテルなどに展開しております。

玩具事業は、国内玩具メーカーからの発注に基づき、玩具製品を主に中国の協力工場より仕入れ、玩具メーカー向けに販売しております。当社グループは、創業以来中国において雑貨の企画製造管理を行ってきたことから、中国現地での生産管理及び仕入についてのノウハウを有しており、そのノウハウを活かし、仕入先工場との連携をとりながら、仕入販売を行っております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

①報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表作成の会計方針と概ね同一です。

②報告セグメントの利益は、営業損益ベースの数値です。

③報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	アパレル 事業	ジュエリー 事業	玩具事業	合計	調整額 (注)	連結財務 諸表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	2,719,306	915,778	1,021,332	4,656,417	—	4,656,417
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	2,719,306	915,778	1,021,332	4,656,417	—	4,656,417
セグメント利益又は 損失(△)	△196,906	△7,895	36,269	△168,533	△110,230	△278,763
金融収益	—	—	—	—	—	2,889
金融費用	—	—	—	—	—	78,806
税引前当期損失(△)	—	—	—	—	—	△354,680
(その他の項目)						
減価償却費及び償却費	42,556	75,302	2,255	120,114	—	120,114
減損損失	39,794	—	—	39,794	—	39,794

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用等110,230千円が含まれております。

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	アパレル 事業	ジュエリー 事業	トイ事業	合計	調整額 (注)	連結財務 諸表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	2,558,075	789,342	1,152,233	4,499,651	—	4,499,651
セグメント間の売上収益	407	—	2,148	2,556	△2,556	—
合計	2,558,482	789,342	1,154,382	4,502,207	△2,556	4,499,651
セグメント利益又は 損失(△)	△201,124	△56,228	88,203	△169,149	△108,334	△277,483
金融収益	—	—	—	—	—	16,038
金融費用	—	—	—	—	—	98,547
税引前当期損失(△)	—	—	—	—	—	△359,993
(その他の項目)						
減価償却費及び償却費	22,146	66,158	—	88,304	—	88,304
減損損失	28,367	—	—	28,367	—	28,367

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用等108,334千円が含まれております。

(3) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスの区分が報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

(4) 地域別に関する情報

1. 外部顧客からの売上収益

本邦の外部顧客への売上収益が当社グループの売上収益のほとんどを占めるため、記載を省略しております。

2. 非流動資産

本邦に所在している非流動資産の金額が連結財政状態計算書の非流動資産の金額のほとんどを占めるため、記載を省略しております。

(5) 主要顧客

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント名
株式会社タカラトミー	551,543	トイ事業

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント名
株式会社タカラトミー	776,310	トイ事業

5. 1株当たり情報

(1) 基本的1株当たり当期損失の算定上の基礎

基本的1株当たり当期損失及びその算定上の基礎は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期損失(△)(千円)	△352,264	△369,775
基本的加重平均普通株式数(株)	14,692,124	16,434,662
基本的1株当たり当期損失(△)(円)	△23.98	△22.50

(2) 希薄化後1株当たり当期損失の算定上の基礎

希薄化後1株当たり当期損失及びその算定上の基礎は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期損失(△)(千円)	△352,264	△369,775
調整額(千円)	—	—
希化後1株当たり当期損失の計算に使用する 当期損失(△)(千円)	△352,264	△369,775
基本的加重平均普通株式数(株)	14,692,124	16,434,662
希薄化効果を有する潜在的普通株式の影響(株)	—	—
希薄化後1株当たり当期損失(△)の計算に使用する 加重平均普通株式数(株)	14,692,124	16,434,662
希薄化後1株当たり当期損失(△)(円)	△23.98	△22.50

6. 後発事象

該当事項はありません。